

素晴らしい始業式（はじめ）を迎える

桜が満開に連なり、白い雲のように見えます。待ちに待った春爛漫の季節となりました。令和6年度のスタートである新任式・始業式を4月5日（金）に行いました。新任式・始業式を通して、2年生、3年生の一生懸命に話を聴く態度、うつむくことなく前を向いている姿、素晴らしい代表生徒の発表、本当に感動しました。素晴らしいスタートとなりました。

【始業式式辞の抜粋】

「初心忘るべからず」・・・「初心」とは、「最初の志」という意味で理解されている場合が多いですが、世阿弥は「時々の初心を忘るべからず」と語っています。つまり、中学校に入学したときの「中学校生活を充実させるぞ」という心だけでなく、中学2年生としての初心、中学3年生としての初心というものがあるということです。進級して中学校生活に慣れてきた2年生、最上級生になった3年生だからこそ、「初心」を意識して自己を見つめることが大切なのではないでしょうか。

敷中は、本当にいい学校です。節目節目で感動や喜びに出逢えます。自分を大きく変えてゆけるチャンスもいっぱいあります。進級した今は、まさに自分を変えるビッグチャンスです。新しい自分を見つけてほしいと思います。それから校歌に歌われている「敬愛の念」とは、世の中の人々の為に尽くし、他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、自分自身を向上させ、困難に立ち向かいながらも自分を見失わず、目標に向かってひたむきに進むことだと思います。夢をもち、夢を膨らませ、夢が実現できるようにしっかりと学校生活を送ってほしいと思います。先生たちも頑張るみなさんをしっかりと応援します。一緒にごがんばりましょう。

＜生徒の発表から＞

☆私たちは2年生になり、先輩になりました。私は「先輩ぶらず、先輩らしく」を意識したいです。これは、先輩になったからと言って、あまり偉そうなことを言ったり、態度をしない、そして先輩らしく、後輩にかっこいい姿を見せるという意味です。今までは違い、私たちも1年生のお手本になれるような姿を見せられるようにしたいです。日常生活では当たり前前の方がしっかりでき、レベルアップを、学校行事や合唱、部活動などで1年生のお手本になれるように頑張っていきたいです。(2年4組 日向紗那さん)

☆4月になり、私たち赤学年は3年生になりました。今まで頼りにしていた先輩はもういません。私たちが学校のリーダーであり、1、2年生のお手本であり続ける一年間でなければいけません。また、全ての行事に「中学校生活最後の」という言葉がつきます。年輪祭や部活動もできることが当たり前前ではないという感謝の気持ちを常に持って取り組みたいです。そして、一番頑張りたいことは勉強です。毎日の授業や自主学習も受験につながっていると考え、一日一日を大切にしていきたいです。3年生として敷島中学校を引っ張っていくという自覚を赤学年全員が持ち、感謝の気持ちを忘れず、笑顔で過ごしていけるように日々頑張っていきたいです。(3年3組 高野泰我さん)

☆仲間と共に成長していきたいです。私たち敷中生は、たくさんの人たちのお陰で成長することができました。先生方や先輩方、仲間と一緒に楽しいことだけでなく、苦しいことも乗り越えてきました。昨年度の年輪祭では、全校生徒が協力したことで素晴らしいものをつくりあげることができました。今年度の生徒会活動も今までの経験をいかし、仲間と共に成長できるような活動をしていきたいです。また、一人一人の想いも認め、活気のある学校をつくっていききたいです。(3年1組 剣持奏汰さん)



第78回入学式～中学校生活のスタート～

4月8日（月）に敷島中学校第78回入学式を挙行了しました。今回から来賓の方々も甲斐市副市長・瀬戸隆之様をはじめ22名の方々にご臨席をいただき、新入生168名の入学式を盛大に行うことができました。新入生のキラキラと輝く瞳と凛とした姿勢がとても印象的でした。これからは2、3年生とともに、新しい息吹でこの伝統ある敷島中を新たな時代の敷島中へと創りあげていってほしいと思います。

今、春を迎えて りりしい瞳が、敷中の校門をくぐり
かわいい頬も 敷中の校門をくぐる
春は再生のときだ そして始動のときだ
敷中を囲む木々や草花のように 若い力をぐんぐん伸ばし
空に向かって すんすん伸びよ
新しい息吹で 伝統ある敷中をつつみ
新たな時代の敷中を創れ



保護者の皆様方、ご入学おめでとうございます。中学校3年間は大人への入口となる大切な学びの場となります。子どもと大人が同居する中学生。疾風怒濤の時代とも言われる中学校時代。そんな大切な時期だからこそ、しっかり方向を見定めて導き、支援しなければならない親と教師がバラバラになっていたのでは、困るのは生徒自身ということになります。この入学式を保護者の皆様と教師がチームとなり、一枚岩で子どもたちを支援していくスタートラインにしたいと存じます。よろしくお願い致します。

【新入生 誓いの言葉】

桜の花が咲き、新たな出会いを告げている今日の良き日、2024年4月8日大きな希望と夢をもち、私たち168名は敷島中学校の1年生となりました。本日は、私たち新入生のために、このような素晴らしい式を開いてくださり本当にありがとうございます。これからはじまる3年間の中学校生活、新しい環境の中、私たちは2つのことに力を入れて努力していきたいと思います。

ひとつ目は部活動です。私は小学生の時、甲斐ACの陸上クラブに所属し、日々練習に励んできました。これまでの経験を生かすことができる陸上部に入りたいと思っています。先生方や先輩方からのご指導を受け、仲間と切磋琢磨し、良い記録が出せるように練習に励んでいきたいと思っています。そして、全力で試合にのぞみたいです。ふたつ目は部活動と勉強の両立です。小学校と比べて中学校では授業の科目が増え、教科ごとに担当の先生がいたり、授業時間が長くなったりと今までと違う環境になりますが、しっかりと予習や復習をして頑張りたいと思っています。

今日スタートした中学校生活ですが、これから先は決して楽しいことばかりではないでしょう。つらいこと、我慢しなければならないこと、仲間と協力し、学級で一つになること、これらのことが必ず一人一人に必要なってきます。悩んでしまうときも、先生方や先輩方に相談し、仲間と励まし合って乗り越えていきたいと思っています。毎日一つ一つのことに一生懸命に取り組み、どんな人にも思いやりの気持ちを持って接し、悔いのない素晴らしい中学校生活を送ることを約束し、誓いの言葉といたします。

令和6年4月8日 新入生代表 望月陽茉莉

